

TAIWAN JAPAN

次代の学校国際交流
を目指して



淡紅中学
有名な八角塔校舎



士林夜一
お祭りのような市場



淡水フィッシャーマン
美しい斜張橋

COLLABORATION_7



歴史ある淡江中学で学校の文化交流をスタート

台北で一番美しい港町、淡水にある淡江中学はキリスト教の私立学校である。戦前は長老教会の紹介によって同志社大学に留学生を送り、つながりは古い。半世紀を経て本校との交流が始まった。2014年5月3日、今回、淡紅中学を訪れたのは4名。生徒同士の会話の基本は英語になるが、出発直前に淡江中学の国語教師（中国語）から特別レッスンを受け、挨拶に必要な定番フレーズは話せるようになってからの参加であった。

未来の授業に
国境はない
国も年齢も超えて
アイデアや学びを
シェアする授業
がやってきた

初日は、歓迎セレモニーを受け、早速ホームステイ。緊張の初日であったが、各ホストファミリーが夕食を用意してくれたり、夜の観光に連れて行ってくれたりした。中学部主任の張先生をはじめ保護者会会長の王さん、副会長の郭さん、に大変お世話になった。高等部の李先生は忙しい入試業務の中、本企画に駆けつけてくださった。

二日目は、日台合同授業である。日本文化体験の合同授業として「竹とんぼ」をみんなで製作した。日本人はすでに経験しているので、初めて行う淡江中学の生徒を手伝う形で共に楽しんだ。「ドラえもんのタケコプターだ!」と好評であった。英語を中心に持てる言葉をつくして生徒同士の交流をすることができた。工作をしながらの会話は、「こうするんだよ!」とって相手の手をとってやってみせたり、ジェスチャーを全面に表現して持てる言葉を使って説明してしまう。会話することよりも先に伝えたいことを出さざるを得ない環境がそこにある。

午後の台北ツアーでは台湾の国宝が保管されている故宮博物館を見学。あの「白菜と豚の角煮」はすれ違いで日本に知っているとのことで見れなかったが、人間業とは思えない緻密な彫刻をはじめ数々の国宝を見ることができた。夕方からお楽しみの士林夜市に行った。夜市とは日本でいうお祭りのような雰囲気を楽しめる市場。所狭しと屋台やお店がならび、見ているだけでも楽しい。この日は学寮に宿泊。校舎の中に寮があり、四階からのキャンパスの眺めは最高であった。

最終日は、日常の授業見学とお別れセレモニーがあり、2泊3日の淡江中学ツアーは終了した。次代をつくる両国の生徒たちにとって、有意義な交流体験、研修ツアーになった。

学校と国際社会をつなぐ

ビジネスの現場では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発や製品生産や流通が行われている。そんな原体験をこの授業で体験できたら...。これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点なのである。

心のこもった おもてなし



台湾では家族で外食することが多く、ホームステイでは、夕食に連れて行ってもらったり、フィッシャーマン（淡水にかかる斜張橋）のライトアップにつれていってもらったりしました。



